

最初に、ロータリーとは何かロータリークラブとは、そしてロータリアンとはについて考えてみたいと思います。意外とロータリーの目的をしみじみと見ることは余りないのではないのでしょうか。ロータリーの目的は、意義のある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

第一、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

第二、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値があるものと認識し社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

第三、ロータリアン一人一人が個人として、また事業及び社会生活において日々奉仕の理念を実践すること。

第四、奉仕の理念で結ばれた職業人が世界的ネットワークを通じて国際理解親善平和を増進すること。

とあります。特に第三のロータリアンが個人として毎日の生活において奉仕の理念を実践することとあります、この奉仕の理念とはどういうことでしょうか。ロータリーとは1905年に産声をあげて110年、今や世界200以上の国と地域に広がり、そのクラブ数は34800余り、120万人の会員数を有しております。まさに文字通りグローバルな奉仕団体に成長しました。それ故に私達ロータリアンも当然自分の地域、自分の国だけを見るだけではなく、更にグローバルな目で世界を見つめなければなりません。世界には毎日の食糧に事欠く人、きれいな飲料水がない人、非常に不衛生な生活をしている人、紛争等で家を追われ苛酷な環境で暮らす人等々まだまだたくさんおります。私達は、この様な現実を目の当たりにした時、そのような人々のことを思いやり、ただ思いやるだけなら誰にでもできます。一歩進んでそのような人々の役に立つこととするというのが、ロータリーで云う奉仕の理念だと思えます。一番手っ取り早い奉仕の理念の実践はロータリー財団への支援です。

ロータリーは、ロータリークラブとロータリアンによって構成される組織で「人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度な道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した事業及び専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である」と定義されています。そしてロータリークラブとは資料によりますと、こう書かれております。「ロータリークラブとは、各人の個人生活、職業生活及び社会生活において奉仕の理念を実践の基盤とすることに同意した事業及び専門職務に携わる人々の集まりだとあります。要するにロータリークラブとは毎日の生活において奉仕の理念を実践しようとする人々の集まりであります。

私達ロータリアンはロータリー財団を支援することでロータリーの目的である世界理解、親善そして平和の達成の為行動しようではありませんか。ロータリーの第一標語は超我の奉仕です。私達は毎日あらゆる生活において利己的欲求を最小限にとどめ、常に最大利他の究極を求め続けて行こうとするロータリーの奉仕哲学であります。自分のことはそこそこに他の人々の

為になることをするという人間にとって一番出来そうで出来ないジレンマに満ちたのがロータリーの基本哲学である超我の奉仕です。そしてロータリー財団のスローガンが世界で良いことをしましょう。

次にロータリー財団への寄付についてみていきましょう。寄付は大きく分けて3種類あります。第一に年次基金への寄付です。この寄付は毎年財団に寄付することが奨励されています。用途を決めない、ロータリーではごく一般的な寄付です。特に最近ではロータリーの6つの重点分野のいずれかに指定いただいた年次寄付があります。勿論この寄付もクラブの年次寄付目標と1人当たりの平均寄付額の目標に算入されます。ただしシェアシステムを通さないため、地区へのDDFとはなりません。又年次寄付はすべて以下の認証の対象となります。

財団の友（毎年年次基金に100ドル以上の寄付する人）

ポールハリスフェロー（年次資金、ポリオプラス、WFグローバル補助金の提唱者側負担分として等、1000ドル以上寄付した人。認証ポイントが使えます）

マルチプルポールハリスフェロー（ポールハリスフェローの人が更に1000ドル寄付しますと、マルチプルポールハリスフェローになります更に1000ドルしますとマルチプルポールハリスフェロー2回目となり9000ドルまで8段階あります。認証ポイントを使用できます）

ポールハリスンサエティ（2013年7月から公式寄付者認証プログラムとなった。毎年・年次基金、ポリオ、承認済みのロータリー財団補助金に毎年1000ドル以上を寄付することを約束した人の認証です。）

メジャードナー（寄付の種類は問わず、年次寄付ポリオプラス、恒久基金寄付の合計で10000ドル以上寄付した人。メジャードナーには10000ドル以上から100万ドル以上まで7段階あります。）

次に以前は用途指定寄付と呼ばれポリオに代表される寄付です。最近ではポリオプラス寄付と呼ばれております。ポリオ撲滅だけに、その資金が使われます。

次に恒久基金への寄付です。この寄付は元本は使わず、その運用益だけがロータリーの奉仕活動に使われます。この寄付は基金の元金となり恒久的に維持されます。このことはロータリー財団が将来も確実に活動を続けていくための備えになります。2017年のロータリー財団誕生100周年までに10億ドルを集めることが目標でしたが、もうすでに10億ドルを達成したという、嬉しいニュースが入っております。しかしもうこれで恒久基金はいらないということではありません。ロータリーの更なる将来への安定した奉仕活動を支える為にも恒久基金への寄付を宜しく願います。

次に寄付したお金の流れについて見てみましょう。

年次寄付は3年間運用された後、シェアシステムによりWF（国際財団活動資金）とDDF（地区財団活動資金）に50%ずつ分けられます。WFはロータリー財団管理委員会がその用途を決定します。一方地区に戻されたDDFは更に地区補助金とグローバル補助金に半分ずつ分けられます。地区補助金は地区での、人道的、教育的な奉仕活動やクラブでの奉仕活動の支援に当てられます。グローバル補助金はロータリーの6つの重点分野に限って使用されます。グ

ローバル補助金にはWFから同額が上乗せされ、更にクラブがグローバル補助金に現金寄付しますと、WFからその半額が上乗せされ更に大きな奉仕活動が可能になります。又ロータリー平和フェローシップ、ポリオプラスの寄贈にも使用できます。又、年次寄付の3年間の運用益はロータリー財団の管理費に当てられます。恒久基金は、元金はそのままで運用され、その運用益だけがWFとDDFに50%ずつ分けられ、無駄なく有効に使われています。米国には、いくつかの慈善団体を格付けしている団体があります。全ての団体からロータリー財団は最高ランクの評価を受けています。

次に認証ポイントについてですが、年次基金やポリオプラスへの寄付をしますと認証ポイントが頂けます。以前はポールハリスフェローになってから現金寄付分について100ドルすれば100ポイント頂けましたが、最近システムが変わり年次基金やポリオプラスに寄付しますといきなり同額のポイントが頂けます。この認証ポイントは貯めていても何もなりません。寄付の増進の為、有効に利用して下さい。このポイントは年次基金にしか使用できません。ポリオプラス、恒久基金寄付には使えません。又、寄付の方法は公益財団法人ロータリー日本財団宛に、寄付送金明細書にもれなく記入して下さい。最近記入漏れや記入ミスできちんと処理出来ない場合があるそうです。御注意下さい。